

# 巨大ダムと水道の一元化



お話 浅野詠子さん 「岐路に立つ水資源開発と日本のダム行政」

昨年8月に新刊『ダムと民(たみ)の五十年抗争～紀ノ川源流村取材記』(風媒社)を出された奈良在住のジャーナリスト、浅野詠子さんから、大型ダムの建設のウラに潜む地域住民の葛藤や、水道行政のねらいと問題などをお聞きします。巨大ダムは、山村の姿を大きく変えるだけでなく、街の住民にとっても「水」へのアクセスが一元化されるという問題につながっています。災害に強い都市と農山村、安全な水の権利はどのように守られるべきでしょうか？ 一緒に考えませんか。

